



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社レオクラン 上場取引所 東
 コード番号 7681 URL <https://www.leoclan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 杉田 昭吾
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 筒井 照己 (TEL) 06-6387-1554
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績(2022年10月1日～2023年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	11,662	△37.8	263	△65.9	249	△69.8	143	△73.7
2022年9月期第2四半期	18,756	11.1	771	△9.3	824	△4.5	545	△7.2

(注) 包括利益 2023年9月期第2四半期 152百万円(△72.6%) 2022年9月期第2四半期 554百万円(△11.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	73.31	73.09
2022年9月期第2四半期	278.45	277.57

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	15,334	5,581	35.4
2022年9月期	13,468	5,537	40.0

(参考) 自己資本 2023年9月期第2四半期 5,428百万円 2022年9月期 5,384百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	50.00	50.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期(予想)	—	—	—	50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の連結業績予想(2022年10月1日～2023年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	△16.0	550	△15.5	550	△22.5	360	△17.6	183.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2023年9月期2Q	1,960,800株	2022年9月期	1,960,800株
② 期末自己株式数	2023年9月期2Q	79株	2022年9月期	79株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2023年9月期2Q	1,960,721株	2022年9月期2Q	1,960,721株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(会計方針の変更)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症（以下、「感染症」という。）の感染状況が落ち着きをみせ、社会経済活動の正常化が進む一方で、ウクライナ情勢の長期化などによるインフレの高進、日米金利差拡大を背景とした為替変動などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する医療業界は、感染症患者数の減少に伴い、人手不足や受診抑制に改善の傾向がみられるものの、アフターコロナを見据えた医療提供体制の再構築に向けて、医療機関の統廃合、機能分化、デジタル化の推進といった様々な課題に直面しております。

このような状況の中、当社グループの主要事業であるメディカルトータルソリューション事業におきましては、医療機関の課題を解決すべく、これまでに培ってきた経験と情報網を活かし、医療機関の新築・移転、再編等に伴う医療機器の一括販売、大型医療機器を中心とした医療機器及び医療情報システム（電子カルテ等）の販売を日本全国で手掛けてまいりました。その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,662,168千円（前年同期比37.8%減）、営業利益は263,190千円（同65.9%減）、経常利益は249,320千円（同69.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は143,738千円（同73.7%減）となりました。

セグメントごとの業績を示すと、次のとおりであります。

① メディカルトータルソリューション事業

メディカルトータルソリューション事業におきましては、感染症再拡大の懸念は残るものの、足元の受注環境に大きな変化はなく、取引先及び当社グループ従業員の安全を確保しながら積極的な営業活動を展開しております。前第2四半期連結累計期間は、戦略的に受注した大型案件を含め2021年12月に納期が集中しておりました。これに対し、当第2四半期連結累計期間は、医療機器一括販売の大型案件が2023年4月（翌第3四半期）以降に増加してくることから、営業活動は変わらず旺盛でしたが、前年同期比では大幅な減収となりました。一方で、販売費及び一般管理費については前年と同水準で推移したため、減収に起因する売上総利益の減少と合わせて、営業利益は前年同期に比べて506,178千円減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は11,095,195千円（前年同期比39.1%減）、営業利益は218,702千円（同69.8%減）となりました。

② 遠隔画像診断サービス事業

遠隔画像診断サービス事業におきましては、質を重視した遠隔画像診断の提供、放射線診断専門医の安定的確保と専門性の高いノウハウを武器に、導入医療機関及び取扱件数の増加を図り、安定した営業基盤を維持しております。売上高は前年同期比で30,298千円の増収となり堅調に推移した一方で、専門医確保のためのコスト増等もあり、営業利益は前年同期に比べて1,900千円減少いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は361,886千円（前年同期比9.1%増）、営業利益は39,092千円（同4.6%減）となりました。

③ 給食事業

給食事業におきましては、新規受託施設の獲得及び既存受託施設への販売強化に注力しております。売上高は前年同期比で5,933千円の増収となり、材料費など売上原価の増加はありましたが、営業利益は140千円の増益となり、当第2四半期連結累計期間の売上高は205,087千円（前年同期比3.0%増）、営業利益は4,325千円（同3.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の状況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,911,359千円増加し、14,143,646千円となりました。これは、現金及び預金が391,313千円減少したものの、受取手形、売掛金及び契約資産が2,239,508千円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて45,357千円減少し、1,190,538千円となりました。これは、有形固定資産が450千円、無形固定資産が3,752千円増加したものの、投資その他の資産が49,560千円減少したことによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1,866,001千円増加し、15,334,184千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,882,518千円増加し、8,900,481千円となりました。これは、主に未払法人税等が102,464千円、賞与引当金が59,860千円減少したものの、買掛金が2,136,452千円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて60,357千円減少し、851,891千円となりました。これは、退職給付に係る負債が49,431千円、役員退職慰労引当金が10,250千円減少したことなどによるものです。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,822,161千円増加し、9,752,372千円となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べて43,840千円増加し、5,581,812千円となりました。これは、主に利益剰余金が45,702千円増加したことなどによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ391,313千円減少し、5,068,876千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動による資金の減少は、218,941千円(前年同四半期は741,985千円の増加)であります。主な要因は、税金等調整前四半期純利益249,320千円、仕入債務の増加2,136,452千円による資金の増加があったものの、売上債権の増加2,239,508千円、法人税等の支払額153,627千円などの資金の減少があったことによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動による資金の減少は、54,520千円(同33,878千円の減少)であります。資金の増減の主な内訳は、有形固定資産の取得による支出29,412千円、無形固定資産の取得による支出22,860千円、保険積立金の積立による支出11,427千円があったことなどによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動による資金の減少は、117,851千円(同111,207千円の減少)であります。資金の減少の主な内訳は、配当金の支払額(非支配株主への支払含む)108,146千円、社債の償還による支出8,750千円があったことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年11月14日に公表いたしました2023年9月期の通期業績予想に変更はありません。

尚、業績予想につきましては、本資料の発表日現在入手している情報に基づいて当社が判断したものであり、実際の業績は様々な要因により予想数値と異なる結果になる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,480,189	5,088,876
受取手形、売掛金及び契約資産	4,360,414	6,599,923
商品及び製品	21,911	49,979
原材料及び貯蔵品	2,342	1,866
前渡金	2,317,938	2,347,822
その他	50,230	55,973
貸倒引当金	△739	△794
流動資産合計	12,232,287	14,143,646
固定資産		
有形固定資産	362,644	363,094
無形固定資産	84,516	88,268
投資その他の資産	788,734	739,174
固定資産合計	1,235,895	1,190,538
資産合計	13,468,183	15,334,184

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	3,960,881	6,097,334
1年内償還予定の社債	92,500	83,750
未払法人税等	155,909	53,445
契約負債	2,306,527	2,318,836
賞与引当金	154,776	94,916
役員賞与引当金	26,500	8,400
その他	320,867	243,799
流動負債合計	7,017,962	8,900,481
固定負債		
退職給付に係る負債	386,944	337,512
役員退職慰労引当金	435,055	424,805
その他	90,248	89,573
固定負債合計	912,248	851,891
負債合計	7,930,211	9,752,372
純資産の部		
株主資本		
資本金	539,369	539,369
資本剰余金	498,944	498,944
利益剰余金	4,242,579	4,288,281
自己株式	△166	△166
株主資本合計	5,280,727	5,326,429
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,893	101,658
その他の包括利益累計額合計	103,893	101,658
非支配株主持分	153,351	153,724
純資産合計	5,537,971	5,581,812
負債純資産合計	13,468,183	15,334,184

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	18,756,539	11,662,168
売上原価	16,825,785	10,236,841
売上総利益	1,930,754	1,425,327
販売費及び一般管理費	1,159,275	1,162,136
営業利益	771,479	263,190
営業外収益		
受取利息	373	52
受取配当金	250	250
保険解約返戻金	54,000	896
助成金収入	—	712
その他	451	1,371
営業外収益合計	55,075	3,283
営業外費用		
支払利息	580	481
支払保証料	318	260
シンジケートローン手数料	1,000	16,000
その他	318	411
営業外費用合計	2,217	17,153
経常利益	824,338	249,320
税金等調整前四半期純利益	824,338	249,320
法人税、住民税及び事業税	265,883	46,237
法人税等調整額	△14,533	48,771
法人税等合計	251,350	95,008
四半期純利益	572,987	154,311
非支配株主に帰属する四半期純利益	27,015	10,573
親会社株主に帰属する四半期純利益	545,971	143,738

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純利益	572,987	154,311
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18,857	△2,234
その他の包括利益合計	△18,857	△2,234
四半期包括利益	554,129	152,076
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	527,114	141,503
非支配株主に係る四半期包括利益	27,015	10,573

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	824,338	249,320
減価償却費	46,327	49,631
貸倒引当金の増減額(△は減少)	17	54
保険解約損益(△は益)	△54,000	△896
受取利息及び受取配当金	△623	△302
支払利息	580	481
売上債権の増減額(△は増加)	△2,600,119	△2,239,508
棚卸資産の増減額(△は増加)	134,662	△27,591
仕入債務の増減額(△は減少)	2,539,495	2,136,452
賞与引当金の増減額(△は減少)	△21,250	△59,860
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	33,800	△10,250
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△16,300	△18,100
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	33,477	△49,431
未払消費税等の増減額(△は減少)	40,549	△66,819
その他の流動資産の増減額(△は増加)	9,480	△29,939
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△40,162	△2,609
その他	6,986	342
小計	937,258	△69,026
利息及び配当金の受取額	907	879
利息の支払額	△627	△494
法人税等の支払額	△195,552	△153,627
法人税等の還付額	—	3,328
営業活動によるキャッシュ・フロー	741,985	△218,941
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△14,458	△29,412
無形固定資産の取得による支出	△10,000	△22,860
保険積立金の積立による支出	△61,632	△11,427
保険積立金の解約による収入	106,212	9,002
敷金及び保証金の差入による支出	△54,000	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	158
その他	—	20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△33,878	△54,520

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
社債の償還による支出	△25,850	△8,750
リース債務の返済による支出	△955	△955
配当金の支払額	△78,402	△97,946
非支配株主への配当金の支払額	△6,000	△10,200
財務活動によるキャッシュ・フロー	△111,207	△117,851
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	596,899	△391,313
現金及び現金同等物の期首残高	5,388,721	5,460,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,985,621	5,068,876

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。尚、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	18,225,798	331,588	199,153	18,756,539	—	18,756,539
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	18,225,798	331,588	199,153	18,756,539	—	18,756,539
セグメント利益	724,880	40,993	4,185	770,060	1,419	771,479

(注)1. セグメント利益の調整額 1,419千円は、セグメント間取引の消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	メディカルト ータルソリュ ーション事業	遠隔画像診断 サービス事業	給食事業			
売上高						
外部顧客への売上高	11,095,195	361,886	205,087	11,662,168	—	11,662,168
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	11,095,195	361,886	205,087	11,662,168	—	11,662,168
セグメント利益	218,702	39,092	4,325	262,121	1,068	263,190

(注)1. セグメント利益の調整額 1,068千円は、セグメント間取引の消去であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。